

海外安全対策情報（2019年1月～3月：ナミビア）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

（1）当地は政治的に落ち着いており、これまでテロや特定外国人を標的とした誘拐は確認されておらず、アフリカの中では比較的安全と言われている。他方、都市部では路上強盗等の一般犯罪は頻発しており、邦人旅行者が被害者となる事件も発生している。

（2）最新の犯罪統計（安全保障省統計：2014年～2016年）によれば、国内全体の刑法犯認知件数は年々増加の傾向にあるが、例年、認知刑法犯の種類に大きな変化はなく、年末は都市部の犯罪が地方へ分散する等パターン化しており、治安は一定を保たれていると言える。月別の刑法犯認知件数については、1月が認知刑法犯の件数が最も少なく、2月～4月に増加、5月～6月に減少、7月～9月に多少変動があるが横ばい、10月～年末にかけて増加、12月に最も多くなる。認知刑法犯の上位は、住居侵入、暴行、盗難、車上荒らし、強盗等が挙げられる。

（3）当地の失業率は、2014年の28.1%から2016年は34%と増加傾向にある。特に若い世代の失業率は37.8%（2016年）となり、それに伴い若年層による金銭目的の一般犯罪が増加傾向にある。標的となりやすい物はカメラや携帯電話等の電子機器である。当地で発生した携帯電話の盗難被害件数は、2014年の4,446件から2016年の6,075件と27%増加している。

（4）環境・観光省のデータによれば、当地を訪れる邦人渡航者数は、2015年に2,192人、2016年に3,957人、2017年は4,167人と年々増加している。日本旅券盗難被害は2016年に6件、2017年に9件、2018年は1件となっている。2018年の邦人旅行者に対する刑法犯認知件数は4件、今年3月末時点で2件となっている。

（5）近年、体感治安の悪化により国民が安全意識の向上に関心を示し、銃の免許取得者は年間6,000～7,000人のペースで増加している。当地の銃器盗難件数は2016年に過去最高の250件を越え、銃器を使用した強盗は全体の強盗事件の内24%、銃器を使用した殺人事件は全体の殺人事件の内14%となっている。なお、Small Arms Survey（※当館注：スイスジュネーブにある国際銃器研究所）が昨年6月に発表した調査結果によれば、ナミビアの銃器所持率はアフリカで二番目に高く、396,000台であり、その内個人使用目的の195,990台が違法、200,010台が合法の銃器と推定される。当地の治安当局は年々増加する銃器の増加、盗難

や持ち主の管理不十分による紛失につき、銃器関連の犯罪増加を懸念している。

2 外国人に対する犯罪の事例

(1) 1月12日, 夜, 当館から北へ200kmのロッジ (Omaruru Game Loage) でスイス人旅行者に対する強盗事件が発生。スイス人旅行者とその配偶者が宿泊中, 拳銃とナタで武装した犯行集団に侵入, 脅され, 400, 000ナミビアドル (日本円にして約3, 200, 000円) 相当の所持品を奪われた。

(2) 1月15日, 夜, 当館から北へ約200kmのロッジ (Erongo Wilderness Loage) でフランス人旅行者に対する強盗事件が発生。フランス人旅行者が敷地内にテントを張り就寝していたところ, ナイフで武装した犯行集団に襲われ, 60, 000ナミビアドル (日本円にして約480, 000円) 相当の所持品を奪われた。

(3) 1月22日, 午後11時30分頃, 当館から東へ約750mの路上 (Dr. Kwame Nkrumah Street) で中国人に対する路上強盗事件が発生。中国人は徒歩で移動中, 1人の男にナイフで脅され, 現金2, 000ナミビアドル (日本円にして約16, 000円) を強奪された。

(4) 1月31日, 午後6時頃, 当館から南へ約8kmのクライン・クツパの山中で在留ベネズエラ人が強盗被害に遭った。ベネズエラ人は女性1名とハイキング中, 7人組の賊に襲われ, 身につけていたTシャツと靴を奪われた。

(5) 2月12日, 午後2時頃, 当館から南西に約3km, ウイントフック市内のショッピングモール (マルワモール) でブラジル人が買物中, スリによる携帯電話盗難被害に遭った。

(6) 2月14日, 午後7時頃, 当館から西へ約3kmの路上 (Fidel Castro Street, Goethe Institut (ゲーテ・インスティテュート) 前) で在留ベネズエラ人に対する車上荒らしが発生。在留ベネズエラ人が路上に駐車し用を済ませ, 車に戻ったところ, 私用車の窓ガラスが割られ, 車内のバッグが盗まれていた。

(7) 2月15日, 午前10時頃, 当館から西へ約3kmのFNB銀行で, 在留中国人に対する強盗事件が発生。在留中国人が100, 000ナミビアドル (日本円にして約800, 000円) を引き出し, 駐車場へ戻ったところ, 複数名の男が現金の入ったバッグを強奪しようと試みた。中国人は抵抗し, なんとかその場を離れた。その後, 中国人は犯人に車で後をつけられていることに気付かず, 自宅へ戻ったところで襲わ

れ、現金の入ったバッグを奪われた。被害者は顔を殴られた際に軽傷を負った。

(8) 3月2日、午後12時頃、当館から西へ約5kmの路上 (Mandume Street) で、邦人旅行者に対する声掛けスリが発生。ザンビアからインターケープ (旅行会社) のバスでウィントフックに到着した邦人旅行者2名が徒歩で宿泊先ロッジへ移動中、2人組の男に声を掛けられた際、邦人旅行者の内1名が首からぶら下げていたバッグの中に入っていたスマートフォンを盗まれた。

(9) 3月5日、午後6時頃、当館から西へ約3kmのホテル内ショッピングモール (Avani Mall) でドイツ人旅行者に対するATMカード盗難・詐欺事件が発生。ドイツ人旅行者が現金を引き出そうとATMを操作中、背後から操作方法を手伝うふりをして旅行者に接近した男が、旅行者のカードと犯人のカードをすり替え、旅行者に暗証番号を入力させ、暗証番号情報を読み取り、逃走した。事件発生から5分後、1,000ユーロが不正に引き出されていた。

(10) 3月6日、午後4時30分頃、当館から東へ約3kmのハイキング場 (Avis Dam) で、イギリス人旅行者に対する強盗事件が発生。イギリス人旅行者はハイキング中、ナイフを所持した強盗集団に遭遇、脅され、電子機器34,000ナミビアドル相当 (日本円にして約272,000円) を奪われた。

(11) 3月20日、午後、当館から西へ3kmのガソリンスタンド (WIKI Service Station) 内のATMで、邦人旅行者がATM利用中に声を掛けられ、クレジットカード機能のついたATMカードを盗まれ、約150万円が不正に使用された。

(12) 3月24日、午前2時頃、当館から北へ約1kmのKlein Windhoek Guest House で、アメリカ人旅行者に対する侵入強盗事件が発生。旅行者が就寝中、何者かがドアをノックし、非常押し釦による警報を受信したので部屋から出てきてほしいと告げたため、旅行者がドアを開けたところ、3人組の集団が部屋に入り1人が旅行者の口を塞ぎ、押し倒し、残り2人が部屋の中の外貨を含む現金、電子機器、旅券等が入ったバッグを奪い去った。外に配備されていた警備員によれば侵入に気付かなかったとのこと。同ロッジはゲートがなく、敷地内への侵入は容易であった。

3 薬物・危険ドラッグについて

(1) ナミビアは違法薬物や危険ドラッグ等の密輸のため、ブラジルから南アフリカ、南アフリカからアンゴラの経由地として利用されている。

(2) 昨年6月15日, 当館から西へ約300kmの港町ウォルビスベイで, ブラジル, 南アフリカを経由してきた412kgのコカイン (ナミビア史上最高額, 市場価格206, 000, 000ナミビアドル, 日本円で約20億円) が押収された。

(3) 今年2月11日, ナミビア警察広報担当官は, ナミビア警察・麻薬取締部が過去4か月間で違法薬物9, 500, 000ナミビアドル相当 (日本円で約7千6百万円) を押収, 423名を逮捕したと発表したうえで, 「これまでナミビアは違法薬物の中継国と認知されていたが, もはや中継国でなく消費国である。」と述べている。

4 交通事故

交通事故による死者数は年々増加の傾向にあり, 2011年の492件から2016年の731件と5年間で33%増加している。交通事故発生の主な原因は, スピード超過, 不注意, 無謀運転等である。2016年のデータによれば, 横転事故が全体の交通事故の29%を占め, 次いで追突事故が27%, 歩行者との接触が23%となっている。直線で片側一車線という道路も大きな事故の要因のひとつである。大型幹線道路で高齢者や初心者, または大型トラックが低速で走行していることに起因する無謀な追い越しも交通事故発生要因のひとつである。観光客が移動中, 飲酒運転による無謀運転の事故に巻き込まれ死亡したケースも発生しており, 飲酒運転手の事故に巻き込まれないよう, 信号が青でも, 交差点に進入する際は左右の確認をする等, 注意が必要である。最新の情報によれば, 2018年の1月から9月までの交通事故報告件数は2543件, 死者373人となっている。

5 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

6 誘拐・脅迫事件発生状況

外国人が被害者となる, 身代金目的の誘拐事件は認知していない。

7 対日感情

ナミビア人の日本人に対する感情は良好。

8 日本人安全対策のためにとった具体的措置

在留邦人へのお知らせの発出

○2月13日付, ナミビアにおけるE型肝炎の拡大

○2月22日付, 多額の現金を持ち歩く際は注意

○3月4日付, 旅行者に対するスリ事件の発生

○3月27日付, 外国人旅行者を狙った犯罪増加 (了)